

十一月十五日（土） 自午前十時 第六十九回連絡會議
至正午

先ツ東郷外相ヨリ日米交渉ニ關スル其ノ後ノ狀況ヲ説明シ次テ「對南方戰爭名目ニ關スル件」ヲ審議シ、修文ニ就テ要旨ヲ定メ幹事修文、次同ノ會議ニ決定スルコトトセリ

「外相ノ對米交渉ノ説明

(4) 日米關係ニ就テハ五日御前會議後當方ノ對案ヲ野村大使ニ開令セリ、其ノ際次ノ事ヲ附加セリ

「モウ半年餘リ忍ビ難キヲ忍ビ今年迄忍耐シテ來タ之ハ平和觀念ニ出發スルノデアアルカ忍耐ニモ限度アリ



米力之以上帝國ノ要求ヲ無視スルコトハ米側ニ於テ十分猛省
スル機^又今日ノ事態ハ一日モ看過出来ナイ旨ヲ米ニ申入レラレ
度シ

(四)野村ハ「ハル」ヲ訪問シ當方ノ電報セル通りヲ先方ニ通ジタリ
米ハ之ニ對シ本交渉ハ予備會議ナリト主張セルヲ以テ「ソナン
事ハイカヌ」ト野村ニ訓令シ、同時ニ米大使ニモ「餘リ延延ス
ルト機ヲ失スル虞アリ早ク返事セヨ」ト促セリ。外相ハ「グ
ルー」ニ對シ「此ノ交渉ハ華府デアルノデアルカ東京デモ華府
ノ交渉ヲ補足スル意味ニ於キテ進リ度イ」旨通シタル處「アル」

モ賛意ヲ表セリ

又「グルー」ニ對シ「米ハ延延ニ延延ヲ重ネ日本ハ譲歩ニ譲歩
ヲ重ネタ而シテ移民問題等ハ今ハ逆轉シ居ル有様ダ、此ノ状態
デハ日本國民ノ感情モ之ヲ許サヌ、議會モ召集サレ事態ハ切迫
シテ居ルカラ予備會議等ト旨ハズ一氣ニ解決セネバナラヌ
米ハ帝國ニ對シ武力ヨリモ強イ經濟壓迫ヲ加ヘテ居ルノデア
ルカラ我ハ自衛上立ツ事モアル、米ガ支那ニ對シ帝國ガ拂ツテキ
ル犧牲ヲ無視スル事ヲ帝國ニ強要スルノハ恰モ日本ニ自殺セヨ
ト旨フノト同ジダ、之レヲ帝國ニ傳ヘヨ」ト告ゲ「グルー」ハ

之ニ對シ「良ク分ツタ本國ニ傳ヘル、又自分ハ此ノ解決ニ必成
ヲ期ス」ト答ヘ涙ダシテ歸ヘレリ
十一月十三日
先日英大使「タレギー」ト話シセル際英國ハ日米ハ猶舊條件
ヲ話シツツアリテ具體的問題ニハ觸レ非スト考ヘ居ル旨述ヘタ
ルヲ以テ、「此ハ予備會議ニ非ス最後ノ段階ナリ」ト應酬シテ
レギー」モ其ノ切迫セル旨ヲ了解セリ
(二)十一月十三日野村「ハル」會談ニ關スル報告ヲ見ルニ米國ハ日
本ニ實行セシムル要求ノミヲ列擧シ米自ラ實行スヘキ事項ハ全
ク擧ゲ非ス、隨ツテ若之ニ返事ヲスルトセバ其ノ冒頭ニ「日本

ノ條件ヲ全面的ニ受容ルルナレバ」トノ條件ヲ附スル必要アリ
考ヘナリ
尙從來ノ日米交渉ノ關係書類ヲ精細ニ見レバ見ル程從來ノ造方
ハ拙シ、日本側ノ證文ハ皆先方ニ出シアリテ先方ヨリハ何等之
ヲ取りツケ非ス、故ニ甚ダ困難ナリト思考セラル
④日米交渉ハ今迄ノ模様ニテハ時日遷延ノ氣持カアルガ如シ、若
シカ不成立ノ場合ニハ獨逸トノ關係ヲ緊密ナラシムル必要アリ
ト思考セラル。獨逸ヲ完全ニ日本側ニ引込ムニハ、伊太利ノ參
戰セシ際獨逸ガ之ヲ好マザリシ例等ヨリ推察シ獨逸ノ不贊成ノ

場合ナキニシモ非ズ、就テハ獨逸トノ交渉ハ稍々過早ナリト考
ヘラルルモ準備工作ハ直チニ之ヲ始メ度シト考フ此ノ點判了兼
願ヒ度シ

ニ野南方開戦名目ニ關スル件」ニ就テハ全般ヲ通シ自己ノ所信ヲ他
ニ強要スル様ニ作文セラレアリ。又支那ノ侮日ニヨリ止ムナク立
フ趣旨ヲ強要スル必要アリ等ノ意見アリ
戦前ニ宣戦布告ヲスルカ或ハ宣戦布告スル事ナク戦争ニ入ルカハ
研究ノ要アリトノ意見多數ナリ

兵會議終了後、獨逸トノ内連絡ニ關シ杉山參謀總長ニ對シ、東郷外

相ヨリ左ノ申入レアリ

「日米交渉不成立ノ場合ニハ直ニ初逸トノ間ニ同盟ヲ強化スル必
要ガアル、之カ爲ノ準備ヲ^ヤ速リ度イト考ヘル、然シナガラ外相
トシテハ現在米國ト話合ヒラシテキルノデ外相ガ大島大使ヲ通
ジテ直接話スノハ具合ガ悪イ、依ツテ參謀總長ヨリ岡本少將ヲ
シテ坂西武官ナリ「オツト」ナリヲ通ジテ間接的ニ内々話ヲ
進メサセテ實ヲ^ヤ速ニハイカスカ」

右申入レニ對シ杉山參謀總長ヨリ

「岡本少將ヲシテヤラセル事ニ就テハ同意、外務ト充分連絡ノ上

ヤラセル據ニシヤウ」ト返事セリ

十一月二十日 (木) 自午前九時 第七十回連絡會議
至午前十時半

「南方占領地行政實施要領」ノ審議並「十八日野村電」ニ對シ十九日外相ノ執リタル處置ニ關シ説明アリ

「南方占領地行政實施要領」ニ關シテハ陸海軍案ニ對スル外務ノ修正ヲ基礎トシテ審議セリ

審議ノ冒頭杉山參謀總長ヨリ左ノ通り要望スル處アリ

「支那事變ノ經驗ニヨル現地行政ニ關シテハ多元的ニ指導スルコト多ク極メテ面白カラサル結果ヲ來シ現在ニテモ此ノ害ヲ